

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【公開番号】特開2014-186055(P2014-186055A)

【公開日】平成26年10月2日(2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2014-054

【出願番号】特願2013-58934(P2013-58934)

【国際特許分類】

G 03 G 15/01 (2006.01)

G 03 G 9/08 (2006.01)

G 03 G 8/00 (2006.01)

C 09 J 4/00 (2006.01)

C 09 J 5/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/01 J

G 03 G 9/08 3 9 1

G 03 G 9/08

G 03 G 8/00

C 09 J 4/00

C 09 J 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体上に、結着樹脂及び着色剤を含有する着色トナーにより画像層を形成する工程、前記画像層の上に、結着樹脂及び離型剤を含有する透明トナーにより透明層を形成する工程、並びに、

前記透明層の上に剥離可能な圧着層を形成する工程を含有し、

前記透明層が前記画像層よりも大きな硬度を有し、

前記硬度が、原子力顕微鏡(AFM)測定に基づく硬度であることを特徴とする
画像形成方法。

【請求項2】

前記支持体が紙支持体である、請求項1に記載の画像形成方法。

【請求項3】

前記透明トナーが離型剤としてフィッシャートロップッシュワックスを含有する、請求項1又は2に記載の画像形成方法。

【請求項4】

前記圧着層が紫外線硬化型組成物を硬化してなる圧着層である、請求項1～3のいずれか1つに記載の画像形成方法。

【請求項5】

前記圧着層がエチレン性不飽和化合物、光重合開始剤及び充填剤を含む紫外線硬化型組成物を硬化してなる圧着層である、請求項1～4のいずれか1つに記載の画像形成方法。

【請求項6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 つに記載の画像形成方法により形成された圧着層同士を加圧接着する工程を更に含む圧着はがきの製造方法。